



海風の国

2024
March

2024年 3月号

佐世保観光マーケティングレポート

SASEBO TOURISM MARKETING REPORT

公益財団法人 佐世保観光コンベンション協会

データに基づく 観光マーケティング ×ブランディングを目指して

2023年5月のコロナ5類移行以来、インバウンドを含む観光需要は急速に回復しており、佐世保市を訪れる訪問者数もコロナ前の水準に近づこうとしています。

こうした中、佐世保市が”旅先として選ばれる地域”となるためには、これまで以上に戦略的な観光地域づくりを官民一体で進めていく必要があります。

私たち佐世保観光コンベンション協会では、そのキーワードとして「データに基づく観光マーケティング×ブランディング」を進めて参りたいと考えています。

携帯電話のGPSによる移動データや検索データ、宿泊予約データ、SNSデータ等の様々なビッグデータを駆使し、本市を取り巻く観光の現状と課題をリアルタイムで分析し、各種の事業を展開します。

このレポートはこうしたビッグデータやそれに基づく分析結果を観光関連事業者等の皆さまへお届けするために作成するものです。私たちは毎月、本レポートとその解説動画を皆様にお届けし、今後は各種セミナーなども実施して参ります。是非、皆さんもデータに関心を持っていただき、私たちと一緒にデータに基づく観光地域づくりを進めていければ幸いです。

※本データは携帯電話アプリの位置情報や検索行動などを基にした推計値です。佐世保市が発表する観光統計とは異なります。



海風の国

3月からの春の観光シーズンに向け好材料が揃った2月

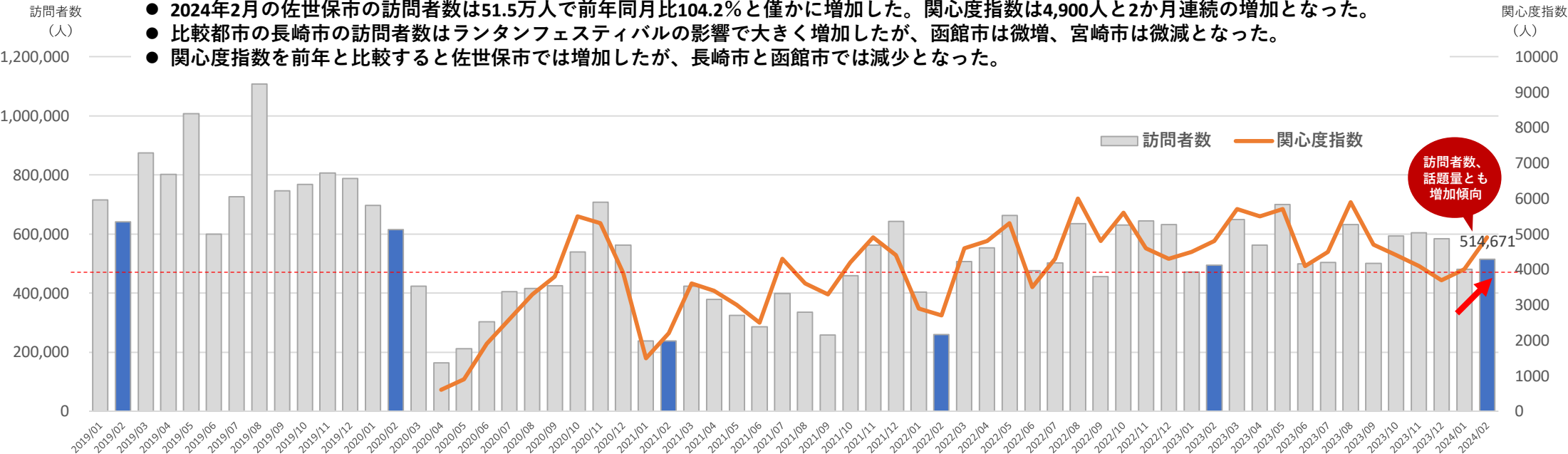
- 2024年2月は昨年実施された全国旅行支援がない通常期であったが、訪問者数は前年同月比104.2%と増加。また、関心度指数も前月比122.5%と2か月連続で増加するなど、好調な環境を維持している。
- 佐世保市の3月から5月にかけては年間を通じ最も訪問者が多い期間であるが、この傾向から推察すると昨年以上の賑わいを見せる可能性が示唆される。
- 佐世保観光コンベンション協会ではこの上昇傾向を更に加速させるための誘客対策を進める必要があるとともに、民間事業者の皆さまに至っては、適切な価格設定やインバウンドをはじめとする観光客の受入態勢の強化が重要と考えられる。

魅力的なイベントの重要性を再認識

- 2024年2月の関心度指数の前月増加率ランキングの上位2位までを「かき食うカキ祭り」が占めるなど、市民や来訪者にとってイベントに注目が集まっていることが把握された。実際に3連休では昨年を上回る訪問客数を記録するなどイベント効果を認識する2月であった。昨年はカキ祭りが中止だったためその影響も考えられる。
- 一方で長崎市ではランタンフェスティバルが開催された期間中、過去最高の121万人の集客を記録した。期間中の土日の訪問者数を比較すると、長崎市の訪問者数は佐世保市の2倍前後となり大きな差がみられた。
- このように2月の訪問動態や関心度から、イベントの効果や重要性が再認識された。本市においても特に閑散期等の集客対策のひとつとして、魅力的なイベント実施のあり方の検討も有効であると分析される。

2024年2月訪問者数・関心度指数サマリー

- 2024年2月の佐世保市の訪問者数は51.5万人で前年同月比104.2%と僅かに増加した。関心度指数は4,900人と2か月連続の増加となった。
- 比較都市の長崎市の訪問者数はランタンフェスティバルの影響で大きく増加したが、函館市は微増、宮崎市は微減となった。
- 関心度指数を前年と比較すると佐世保市では増加したが、長崎市と函館市では減少となった。



佐世保市：訪問客数・関心度指数

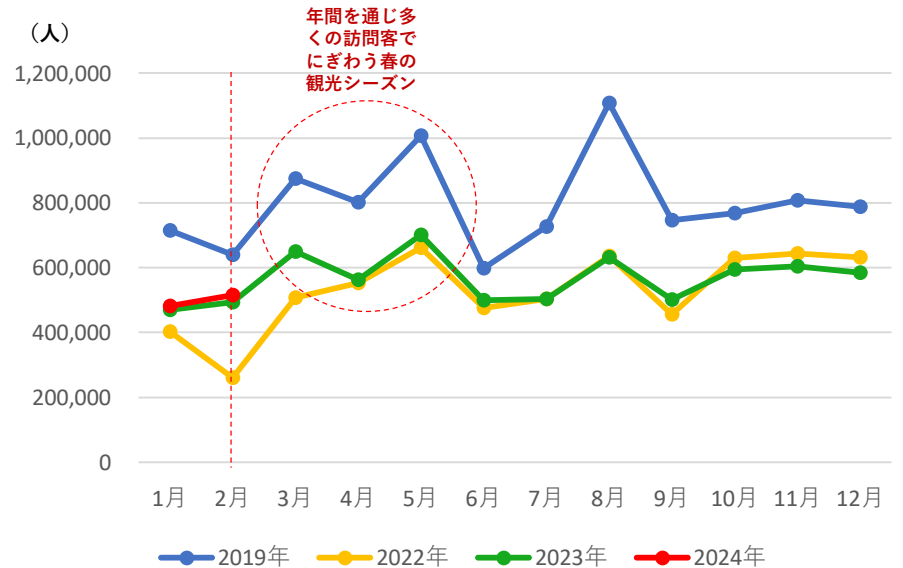
	訪問客数	関心度指数※
今月	514,671人	4,900人
前月比	107.0% ↑	122.5% ↑
前年同月比	104.2% ↑	102.1% ↑
コロナ前比	83.6% ↓	—

(比較都市：訪問者数・関心度指数)

	佐世保市	長崎市	函館市	宮崎市
訪問者数	514,671人	925,456人	331,506人	443,412人
(前年同月比)	104.2% ↑	131.1% ↑	107.6% ↑	98.7% ↓
関心度指数	4,900人	28,900人	14,800人	12,300人
(前年同月比)	102.1 ↑	98.6% ↓	91.9% ↓	100.8% ↑

※関心度指数は、日本全体でどれくらいの方がそのキーワードを検索しているかを表す指標。ヤフーの検索データと政府統計や検索シェア比を使って推計値として算出。本レポートでは、検索キーワード「佐世保市」の観光関連の共起ワードで最多の「佐世保_観光」とし完全一致のみをカウントした。実際は「佐世保観光」、「佐世保_観光_〇〇」、「佐世保旅行」など検索ワードは様々であるが、定点観測ワードとして採用した。

佐世保市月別訪問者数

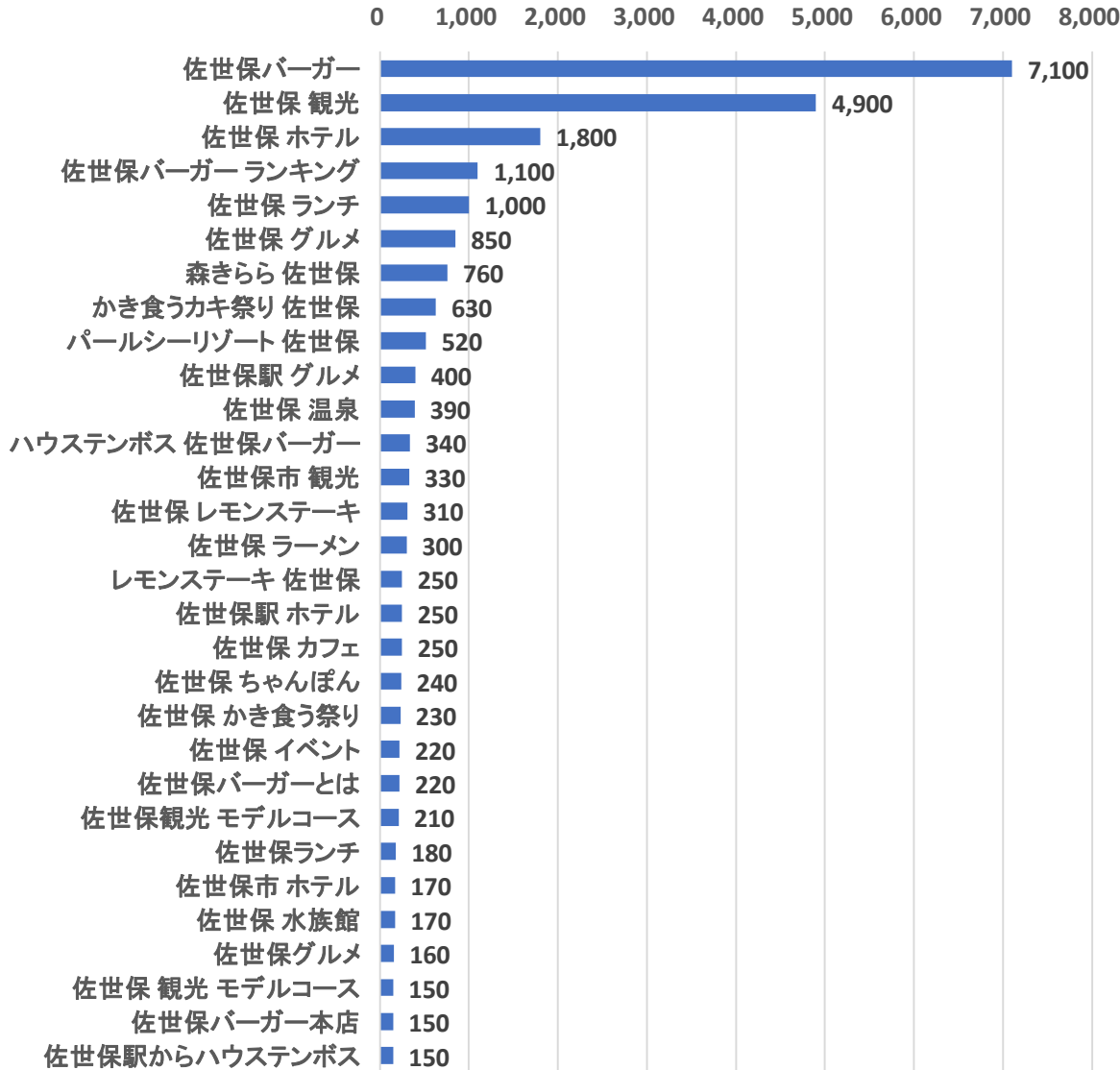


資料)ヤフー・データソリューションDS.INSIGHT/おでかけウォッチャーデータを基に作成

2024年2月の「佐世保」関連キーワード 関心度指数ランキング

- 2024年2月の佐世保関連キーワードの関心度指数は「佐世保バーガー」が連続1位で最も多く、以下「佐世保 観光」、「佐世保 ホテル」、「佐世保 バーガーランキング」が12月、1月と同様に続いている。
- 1月からの増加率をみると、冬では約4年ぶりに2月に開催された「かき食うカキ祭り 佐世保」が1位、2位を占めるなど関心の高さがうかがえる。

【「佐世保」関連キーワード関心度指数ランキングベスト30（人）】



<参考> その他佐世保市内施設の関心度指数

- ・ハウステンボス 91,700人（1月67,300人）
- ・九十九島 3,100人（1月3,200人）

上位2位までを「かき食うカキ祭り」が独占。イベントへの関心の高さがうかがえます。

【前月からの増加率ランキング】

1位	かき食うカキ祭り 佐世保
2位	佐世保 かき食う祭り
3位	佐世保 水族館
4位	佐世保 レモンステーキ
5位	佐世保駅 グルメ
6位	佐世保市 観光
7位	ハウステンボス 佐世保バーガー
8位	佐世保駅からハウステンボス
9位	佐世保 カフェ
10位	佐世保 ホテル

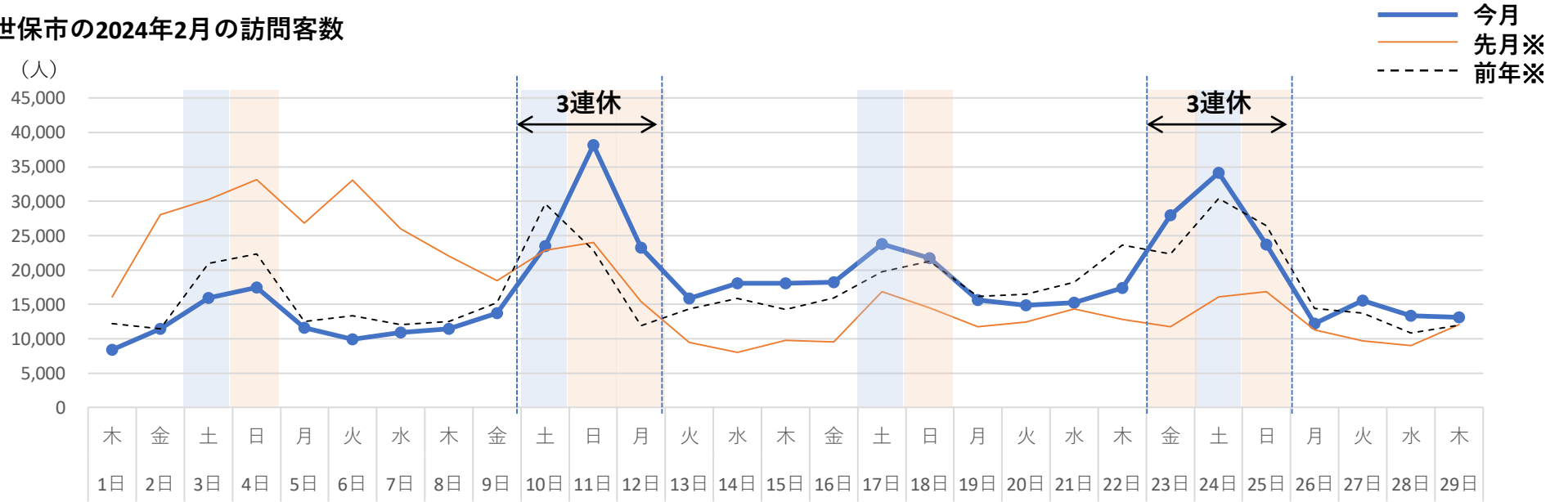
※関心度指数

日本全体でどれくらいの方がそのキーワードを検索しているかを表す指標。ヤフーの検索データと政府統計や検索シェア比を使って推計値として算出

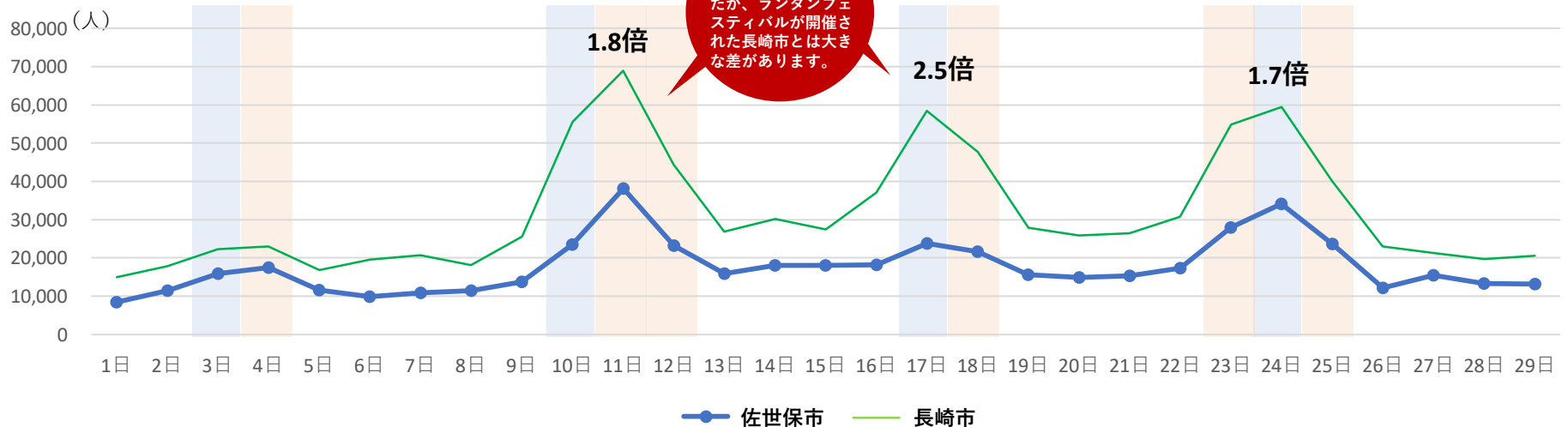
2024年2月デイリー訪問者数

- 2月のデイリー訪問者数は、最初の三連休の中日である11日（日）が最多となり、24日（土）が続いた。
- 参考までにランタンフェスティバルが開催された長崎市と比較すると、皇帝パレードが開催された17日（土）で2.5倍程度と大きな差がみられた。

佐世保市の2024年2月の訪問客数



(参考) 佐世保市と長崎市のデイリー比較



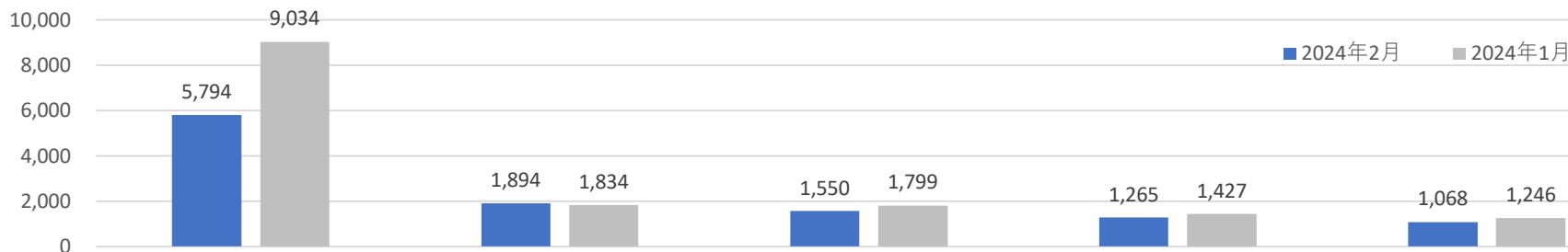
佐世保市でも昨年を上回る訪問者数でしたが、ランタンフェスティバルが開催された長崎市とは大きな差があります。

2024年2月の佐世保関連キーワードSNS投稿数



2024年2月 投稿数 (件)

「X (旧Twitter) / Instagram / Facebookページ / ブログ / Q&Aサイト / YouTube / TikTok / 掲示板 / ニュース」投稿数の合計



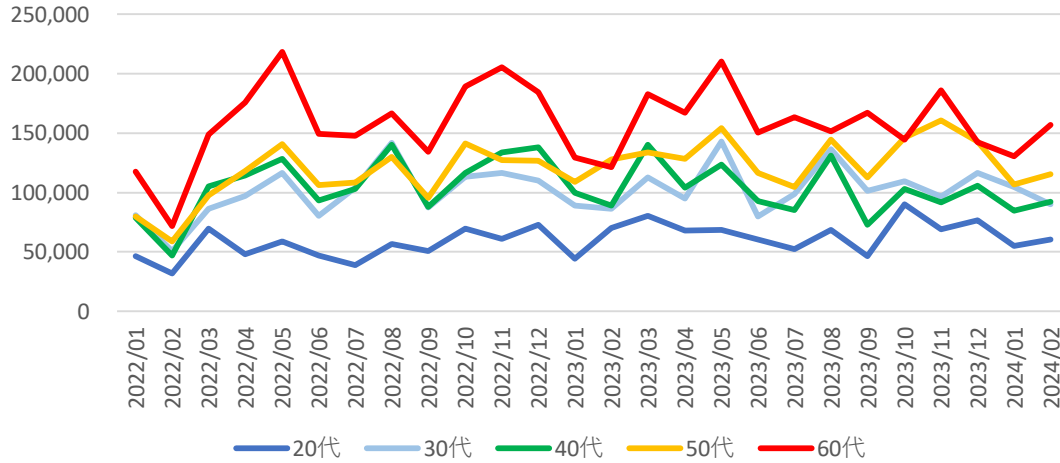
		佐世保写真	佐世保グルメ	佐世保観光	佐世保ランチ	佐世保旅行
		2024年2月 1日あたり 平均投稿数 (件)	Twitter	148.7	8.0	17.3
	Twitter(RT無し)	14.8	4.9	10.8	3.6	8.7
	Instagram	40.8	53.6	30.2	37.1	22.9
	Facebookページ	0.2	0.3	0.4	0.0	0.1
	ブログ	1.4	1.2	1.2	1.5	1.1
	Q&Aサイト	0.1	0.4	0.7	0.0	0.7
	YouTube	0.3	0.0	0.1	0.0	0.0
	TikTok	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1
	掲示板	0.1	0.0	0.3	0.0	0.2
	ニュース	8.1	1.7	3.0	0.0	1.2
	すべて	199.8	65.3	53.4	43.6	36.8

Instagram ハッシュタグ ランキング	該当キーワードと同時に 発言されているハッシュタグ を表示しています	1位	#佐世保	684 回	#佐世保	738 回	#佐世保	606 回	#佐世保	669 回	#佐世保	496 回
		2位	#長崎	403 回	#佐世保グルメ	620 回	#長崎	391 回	#佐世保ランチ	494 回	#長崎	379 回
		3位	#ハウステンボス	171 回	#長崎	344 回	#長崎観光	342 回	#佐世保グルメ	408 回	#長崎旅行	279 回
		4位	#sasebo	154 回	#長崎グルメ	319 回	#佐世保観光	341 回	#長崎	260 回	#ハウステンボス	271 回
		5位	#nagasaki	113 回	#佐世保ランチ	305 回	#sasebo	205 回	#ランチ	219 回	#長崎観光	206 回
		6位	#佐世保市	109 回	#佐世保カフェ	171 回	#nagasaki	188 回	#佐世保カフェ	187 回	#旅行	189 回
		7位	#佐賀	99 回	#sasebo	166 回	#ハウステンボス	170 回	#長崎グルメ	186 回	#九州旅行	177 回
		8位	#写真	99 回	#nagasaki	138 回	#佐世保グルメ	168 回	#佐世保ディナー	135 回	#佐世保旅行	165 回
		9位	#九州	93 回	#佐世保観光	110 回	#長崎旅行	142 回	#sasebo	134 回	#nagasaki	158 回
		10位	#japan	93 回	#佐世保ディナー	108 回	#長崎グルメ	133 回	#長崎ランチ	131 回	#sasebo	156 回

2024年2月／性・年代別サマリー

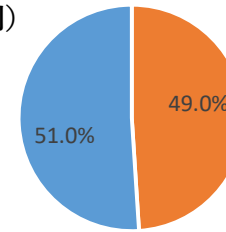
- 2024年2月の年代別訪問者数は、60代が15.7万人で最も多く、50代、40代が続いている。
- 前年同月比では60代、40代、30代で増加となった。
- 関心度指数は50代を中心に高年代で多く、40代以上は前年同月に比べても増加傾向にある。一方20代、30代は比較的少なく、情報検索ではSNSを活用していることが多いと推察される。

年代別訪問者数推移 (人)

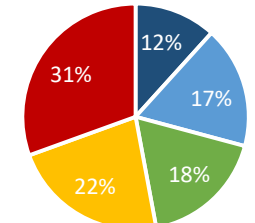


今月の来訪者数

(性別)



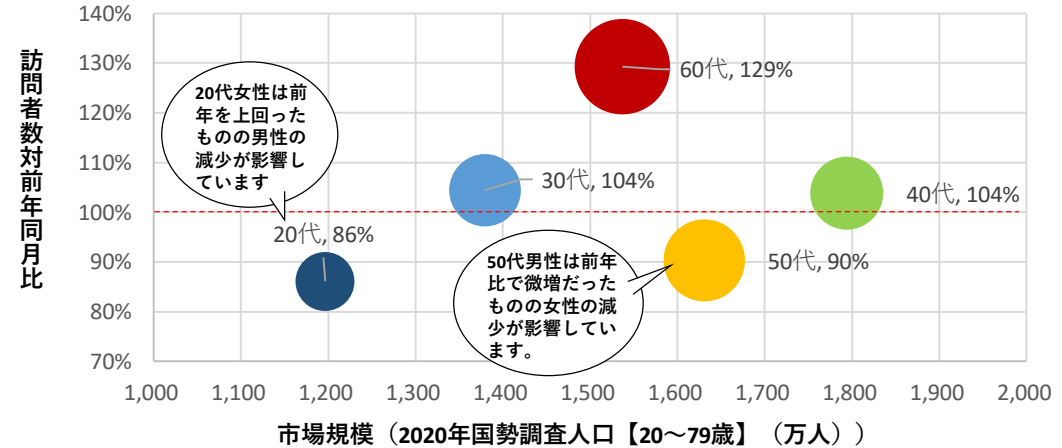
(年代別)



女性 男性

20代 30代 40代 50代 60代

市場規模×訪問者数増加率 (対前年同月比) ※円の大きさは2月訪問者数



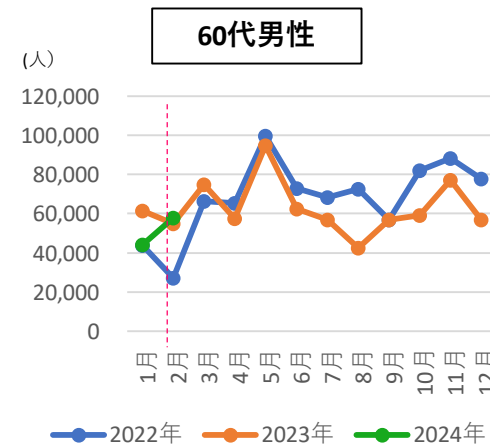
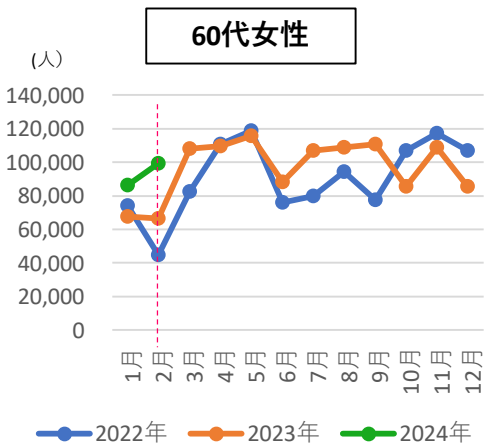
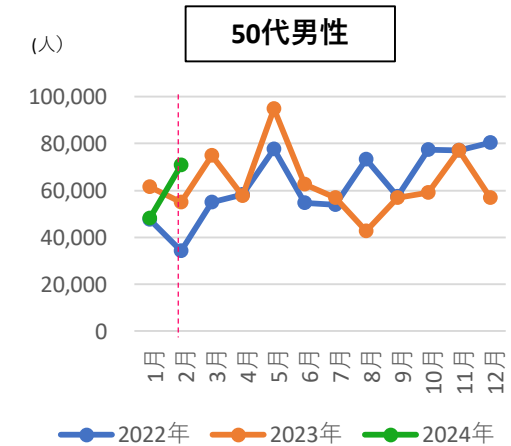
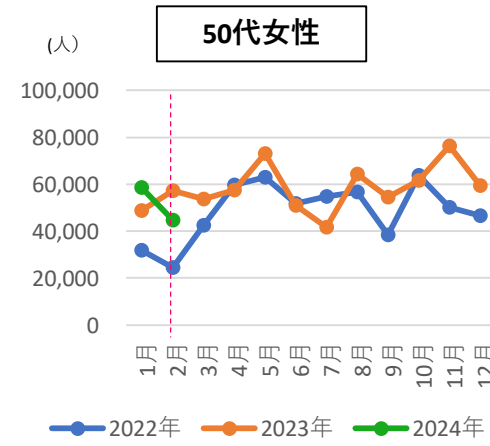
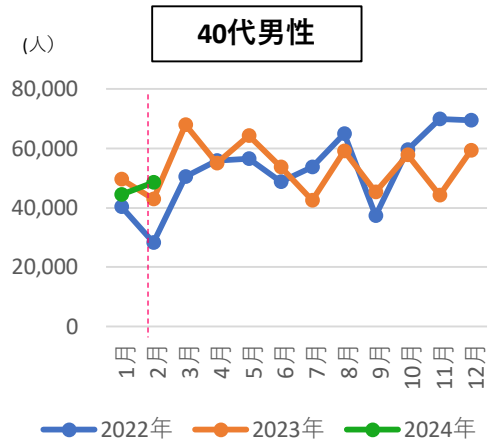
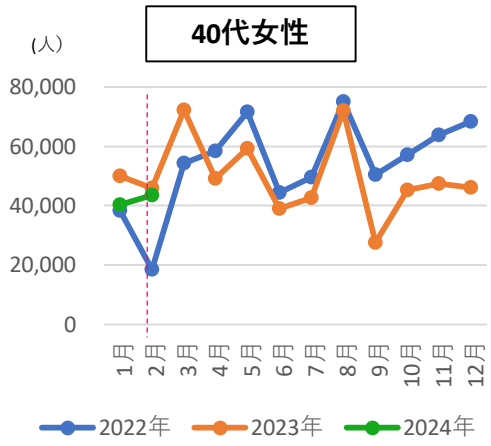
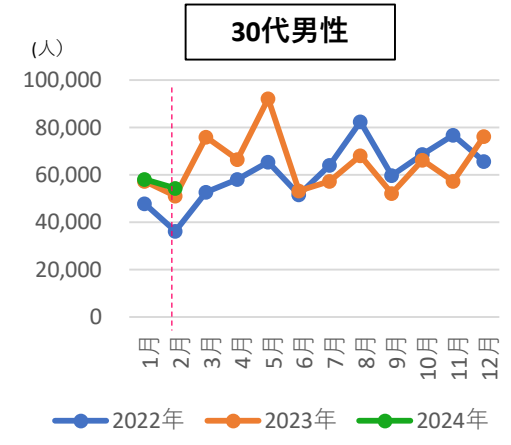
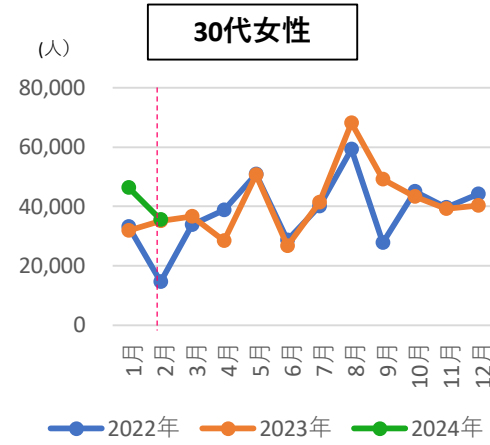
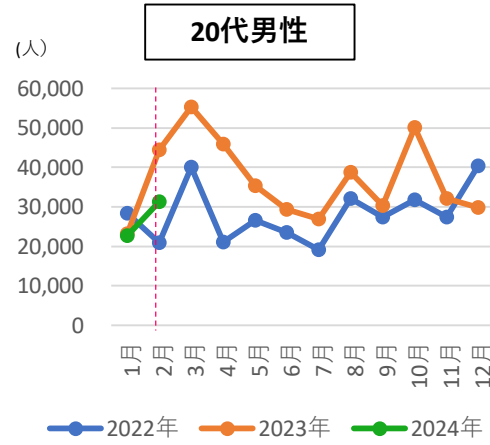
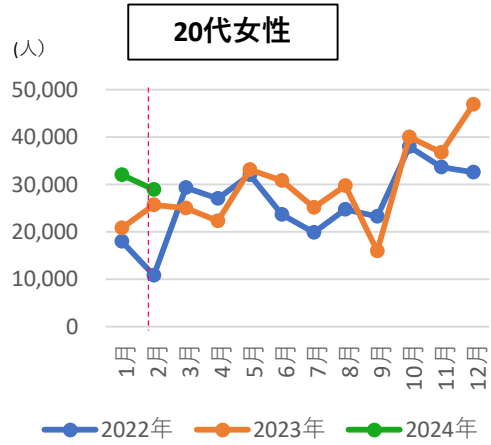
2024年2月の年代別訪問者数・関心度指数

	訪問者数 (人)		男女比		前年同月比	関心度指数 (人) 「※佐世保 観光」		前年同月比
	訪問者数	人口比※	女性	男性		関心度指数	人口比	
20代	60,283	0.50%	48%	52%	86% ↓	20代(検索) 620	0.50%	83% ↓
30代	89,852	0.65%	40%	60%	104% ↑	30代(検索) 570	0.65%	92% ↓
40代	92,102	0.51%	47%	53%	104% ↑	40代(検索) 930	0.51%	103% ↑
50代	115,315	0.71%	39%	61%	90% ↓	50代(検索) 1,100	0.71%	110% ↑
60代	157,119	1.02%	63%	37%	129% ↑	60代(検索) 900	1.02%	110% ↑

※人口比は2020年国勢調査の年代別人口に対する割合

資料) ヤフー・データソリューションDS.INSIGHT / おでかけウォッチャーデータを基に作成

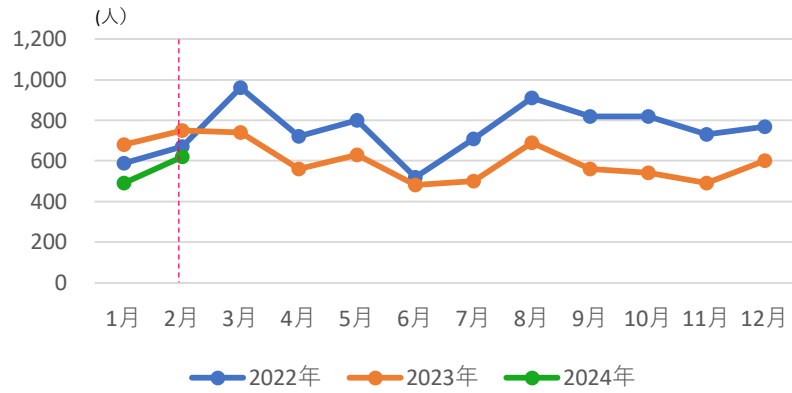
性・年代別訪問者数 対前年比較



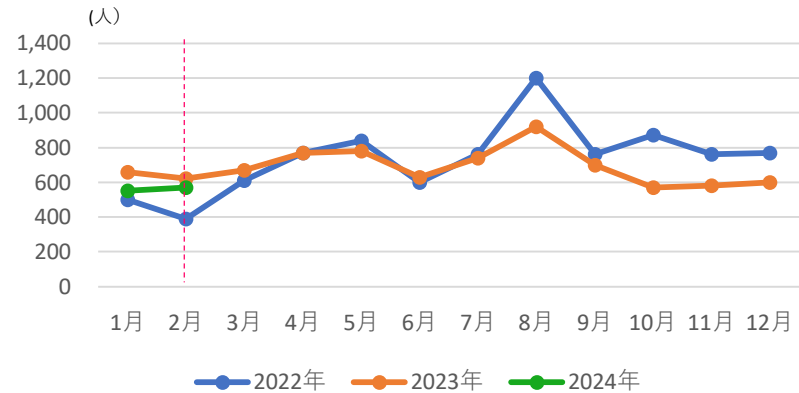
年代別関心度指数 前年比較

※折れ線グラフの推移が分かりやすいように、グラフ縦軸の数値の幅が異なります。

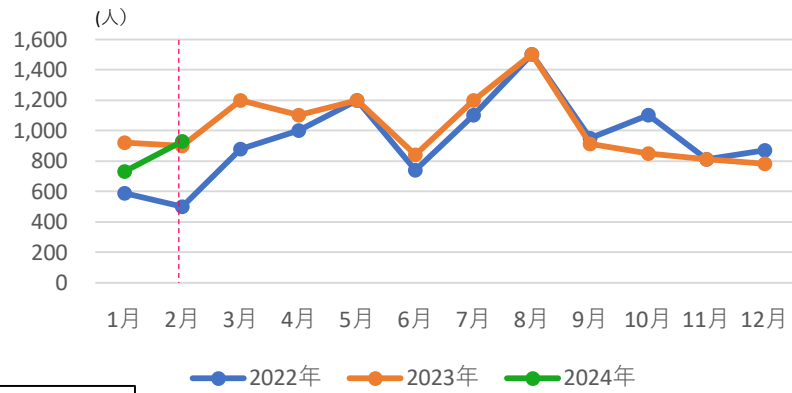
20代



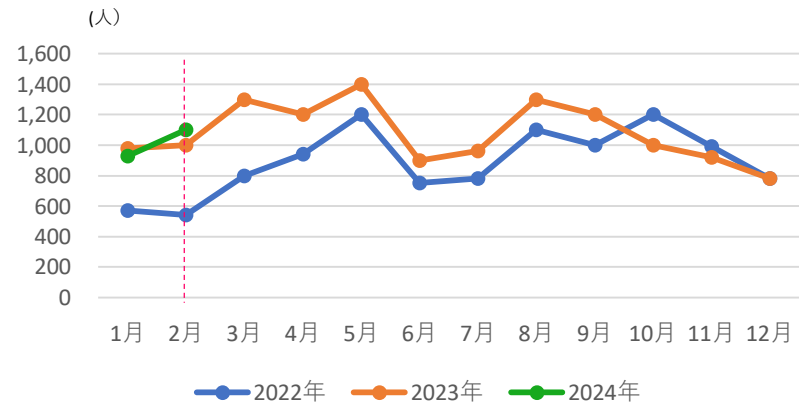
30代



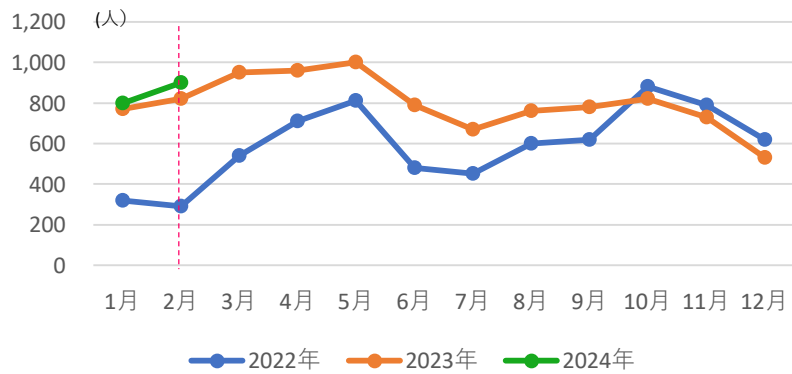
40代



50代



60代



性・年代別 訪問者数・関心度相関関係

※折れ線グラフの推移が分かりやすいように、グラフ縦軸の数値の幅が異なります。

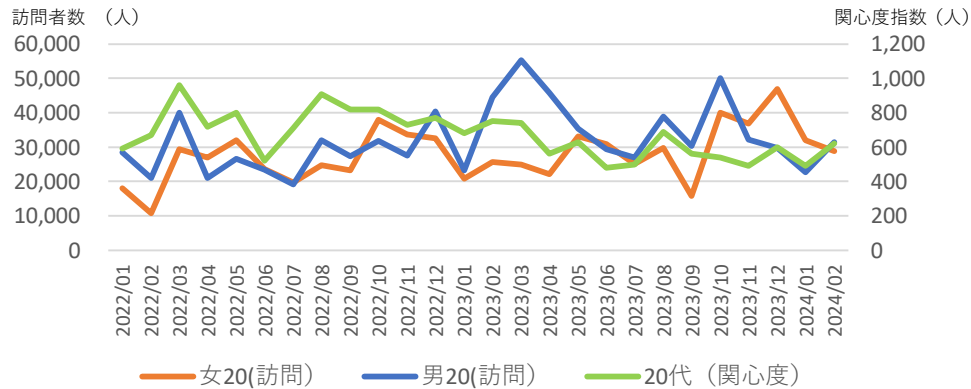
- 訪問者数と関心度の相関関係を見ると各年代で「女性」の相関関係が高いことが窺える。
- 特に30代女性は関心度と訪問動向の傾向が一致しており、プロモーションやキャンペーンなどに敏感であることがうかがえる。

(参考) 2023年訪問者数と関心度の相関係数※

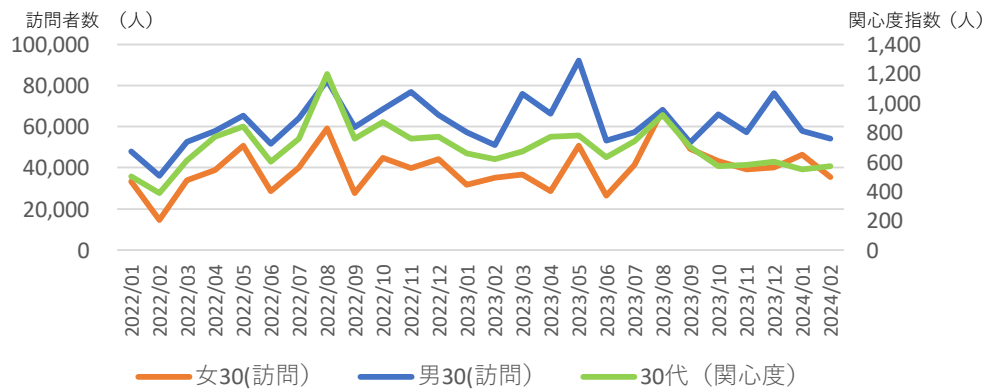
	女性	男性
20代	-0.22	0.40
30代	0.62	0.30
40代	0.71	0.37
50代	0.26	0.29
60代	0.31	0.49

※相関係数とは2つの変数がどれだけ関連しているかを示す統計量で、1に近いほど強い相関がある。0.2~0.4で弱い相関、0.4~0.7で相関関係があり0.7以上は強い相関がある。

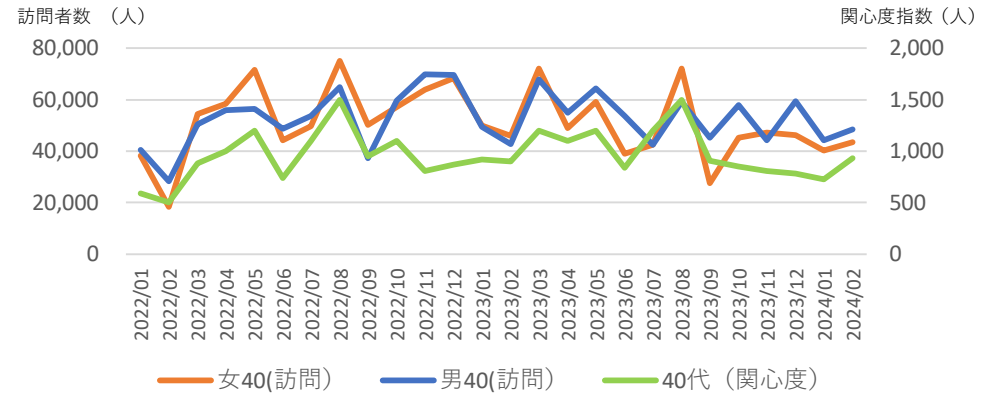
20代



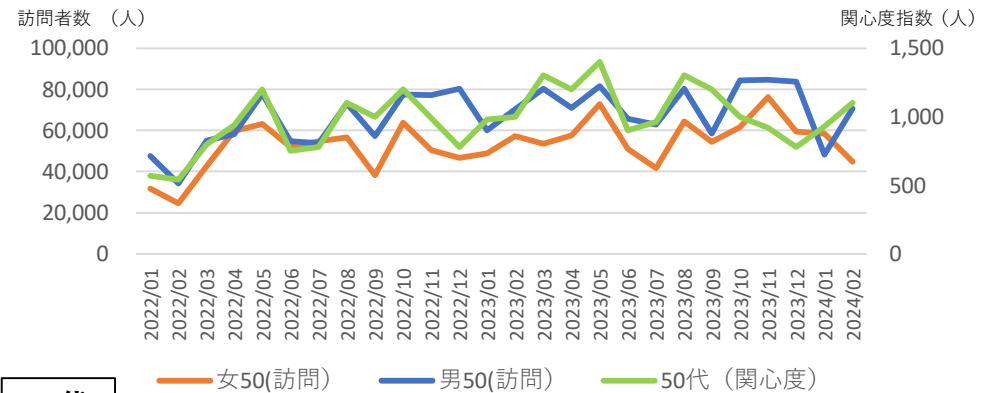
30代



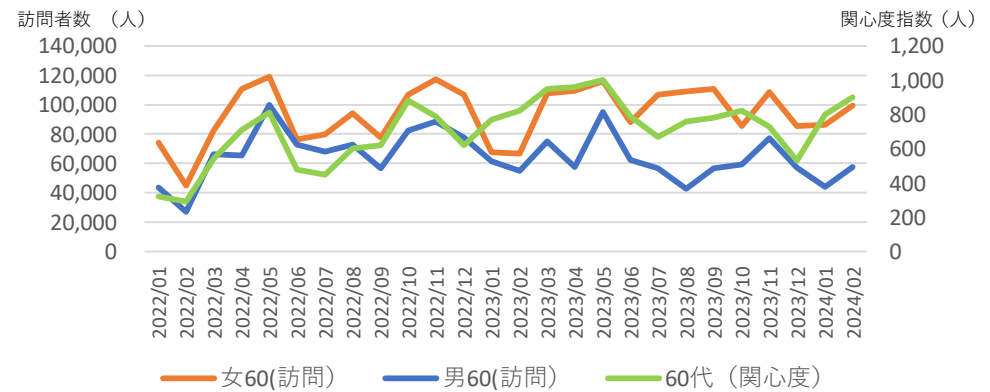
40代



50代



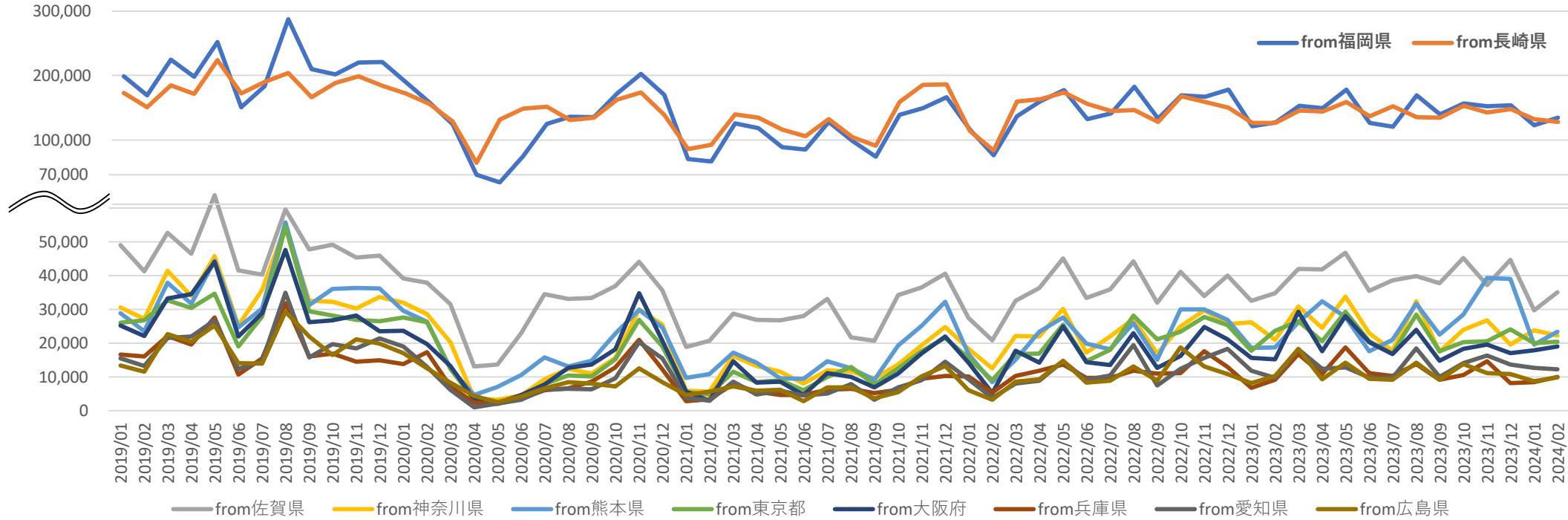
60代



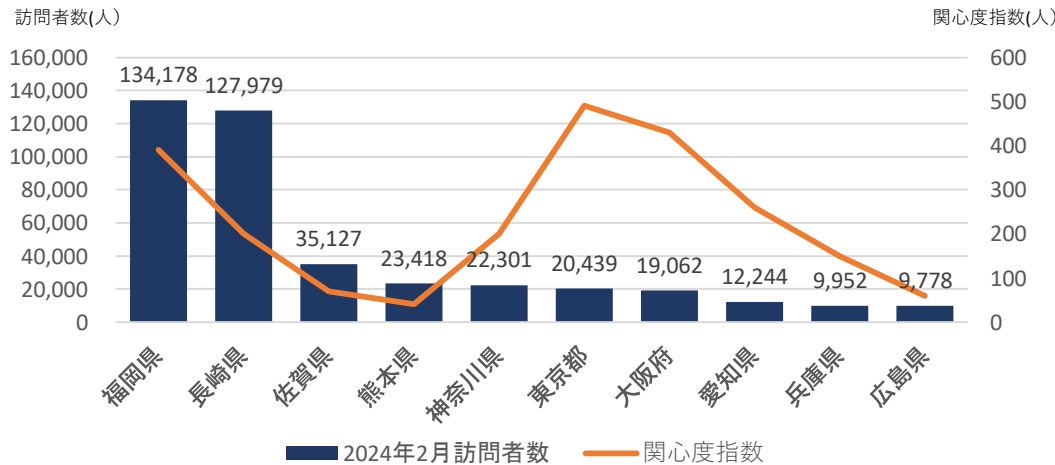
2024年2月／エリア別サマリー

- 本市への訪問者数は福岡県と長崎県からが最も多く、以下、佐賀県や熊本県などの九州圏内や東京都や大阪府などの大都市圏からの訪問が多くなっている。
- 前年同月比でみると、熊本県、愛知県、大阪府が120%を超える増加となっている。

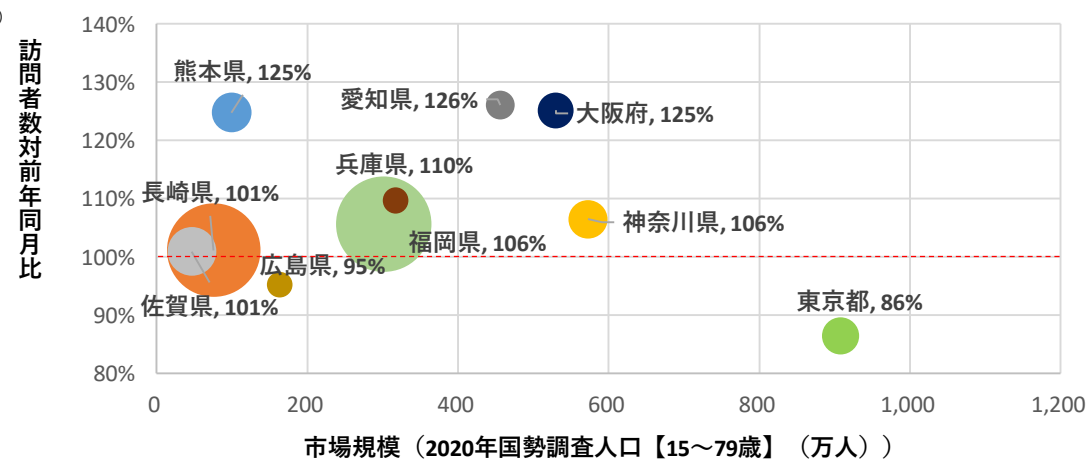
訪問者数推移
(人)



2月都道府県別訪問者ランキング（主要10都道府県※）＋関心度指数

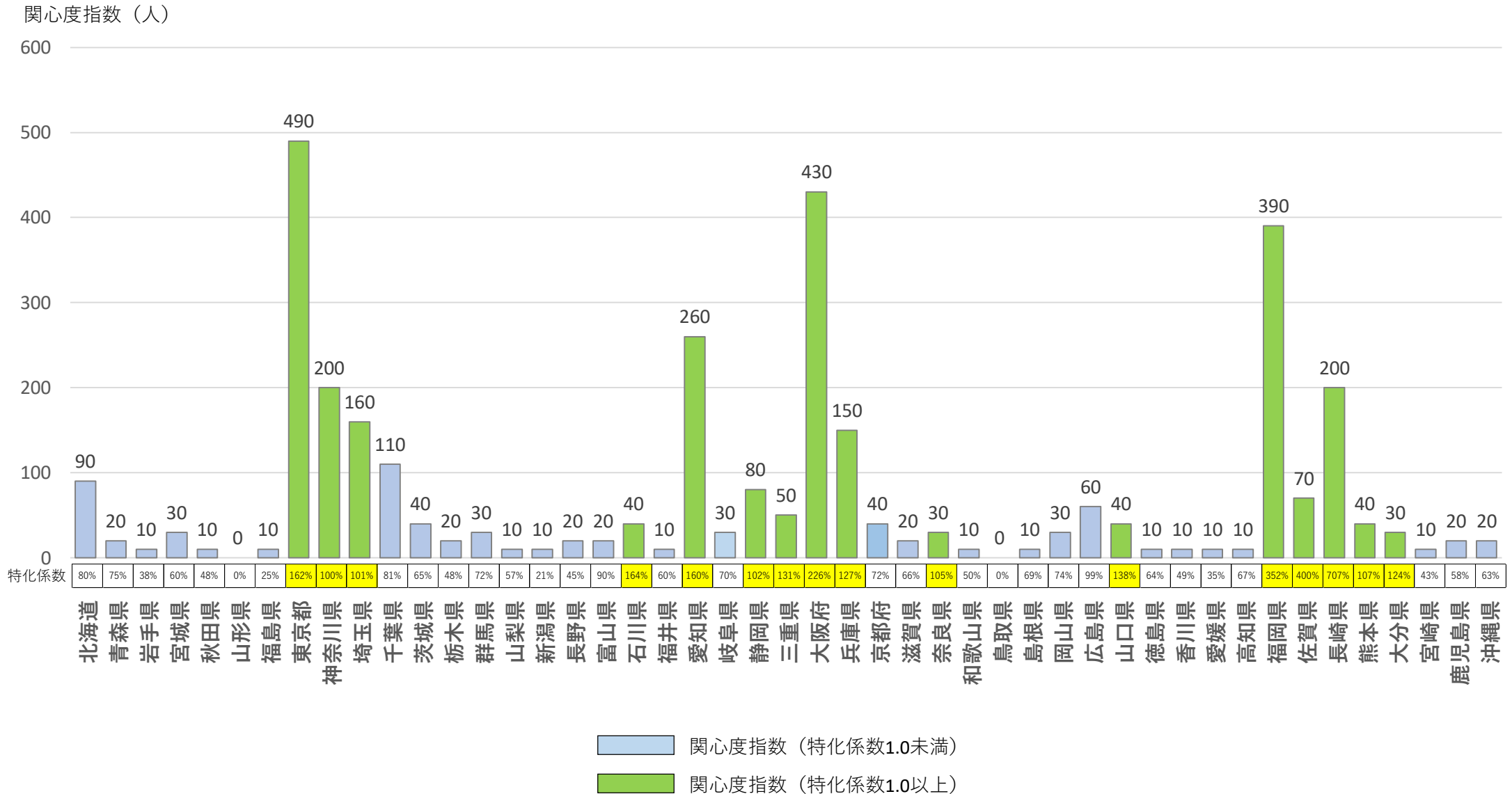


市場規模・訪問者数増加率（対前年同月比）※円の大きさは2月訪問者数



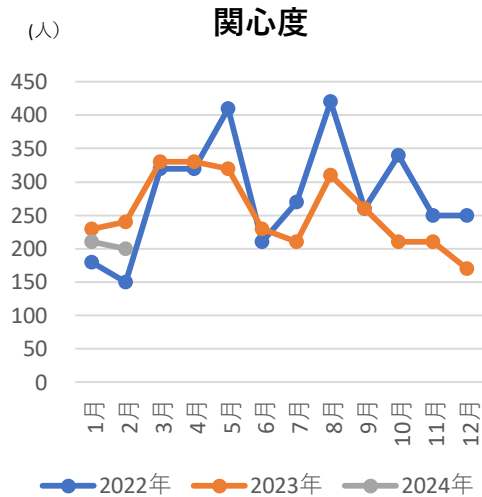
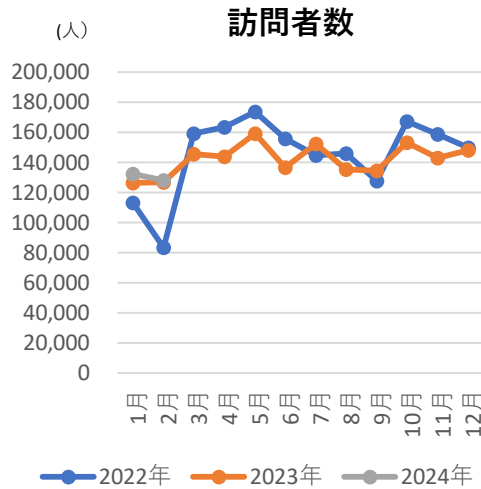
2024年2月 都道府県別関心度指数・特化係数（対人口比）

※特化係数は関心度指数割合／都道府県別人口割合より算定。
（100%以上であれば人口割合に対し関心度が高いことを示す）

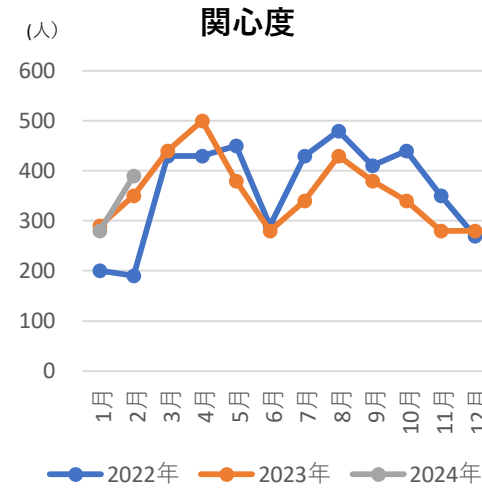
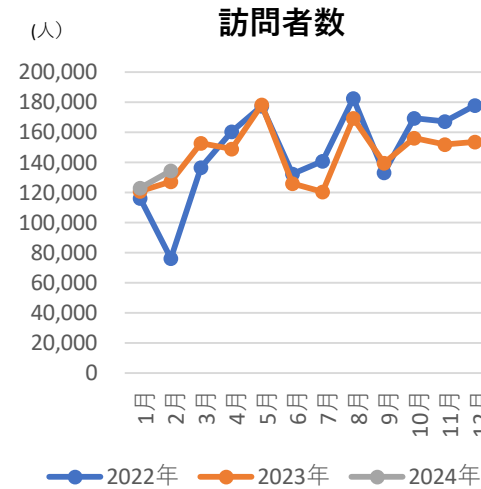


都市別訪問者数・関心度指数 前年比較

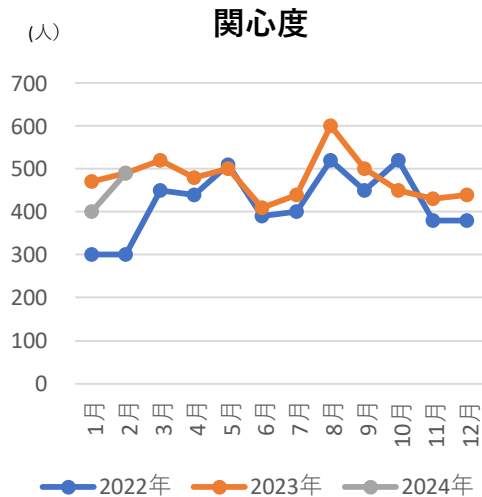
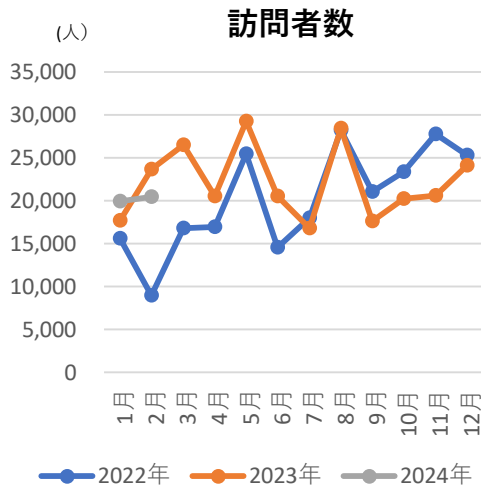
from長崎県



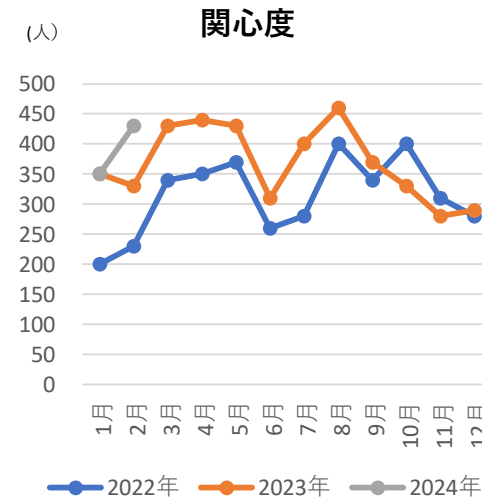
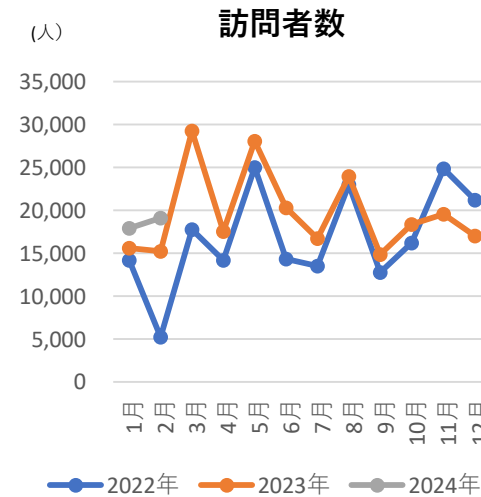
from福岡県



from東京都



from大阪府



資料) ヤフー・データソリューションDS.INSIGHT / おでかけウォッチャーデータを基に作成

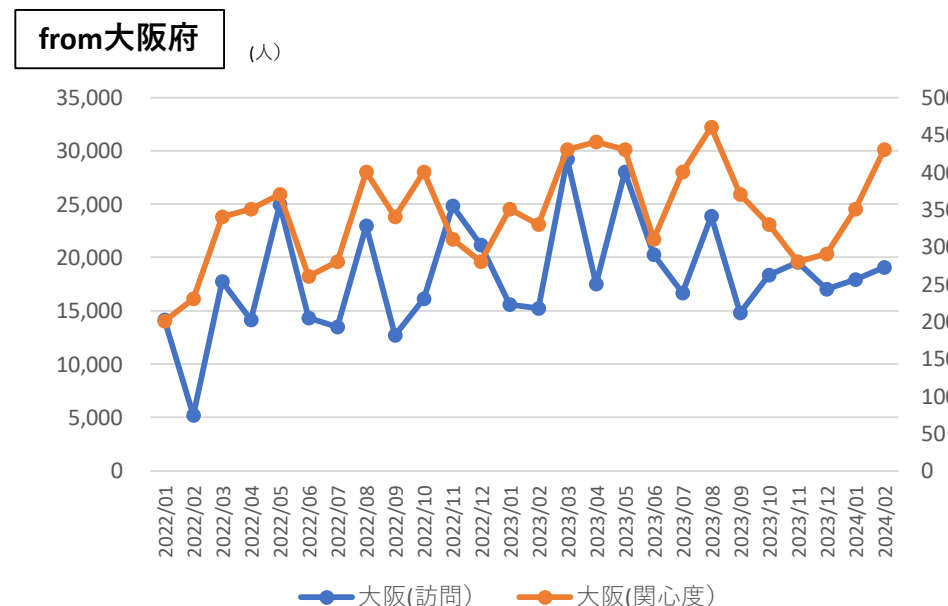
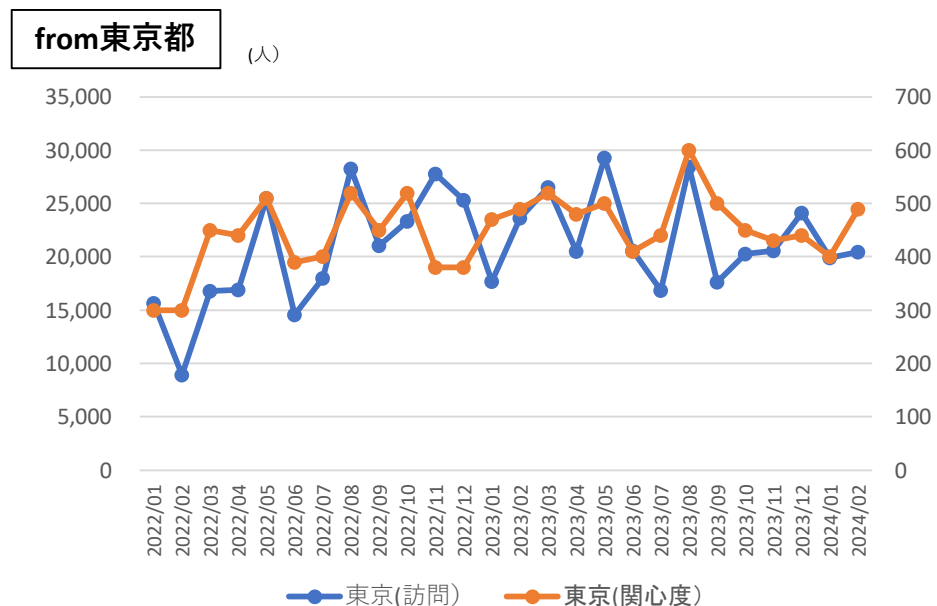
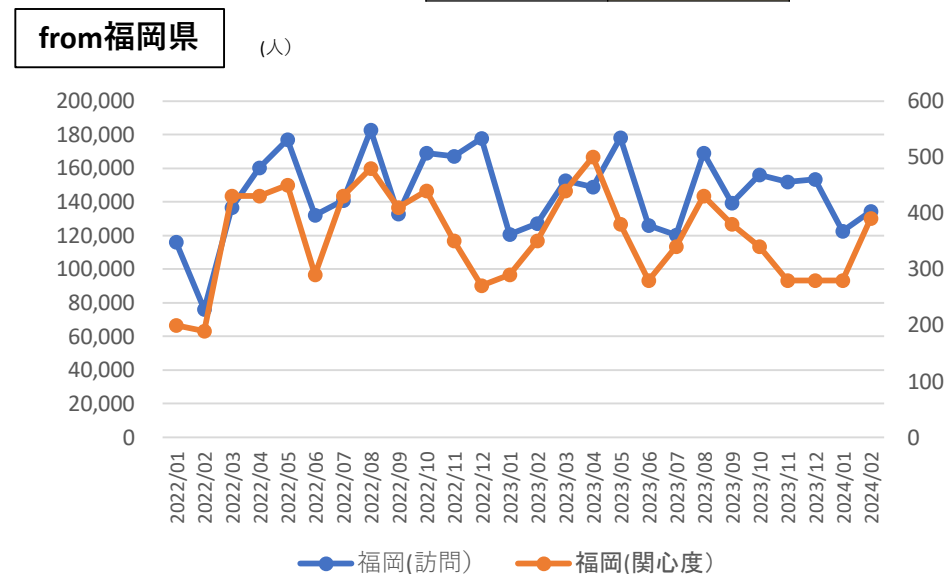
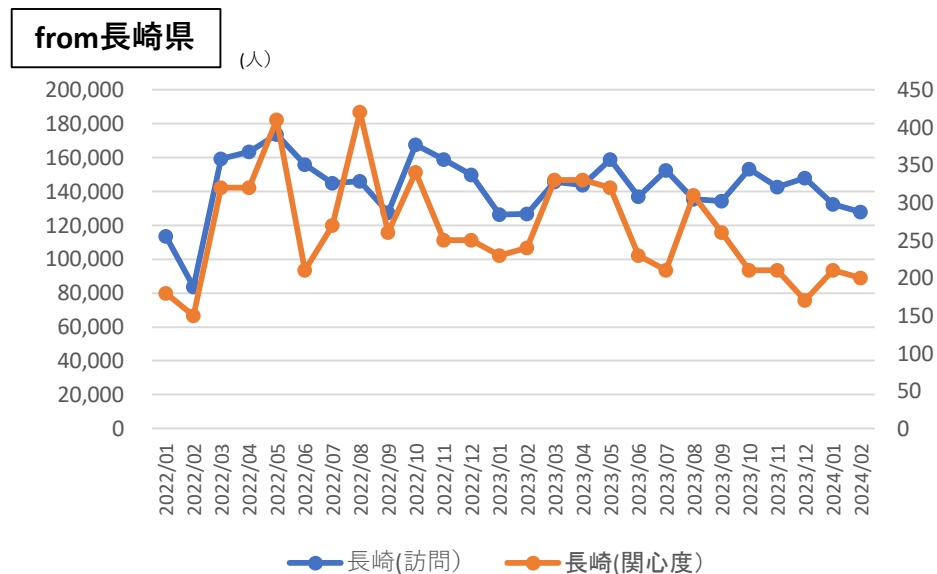
訪問者数・関心度指数の相関関係

- 訪問者数と関心度指数をみると大都市圏ほど相関関係が強いことがうかがえるが、大阪府が昨年12月以降、関心度と訪問者数とも増加傾向にある。

(参考) 2023年訪問者数と関心度の相関係数※

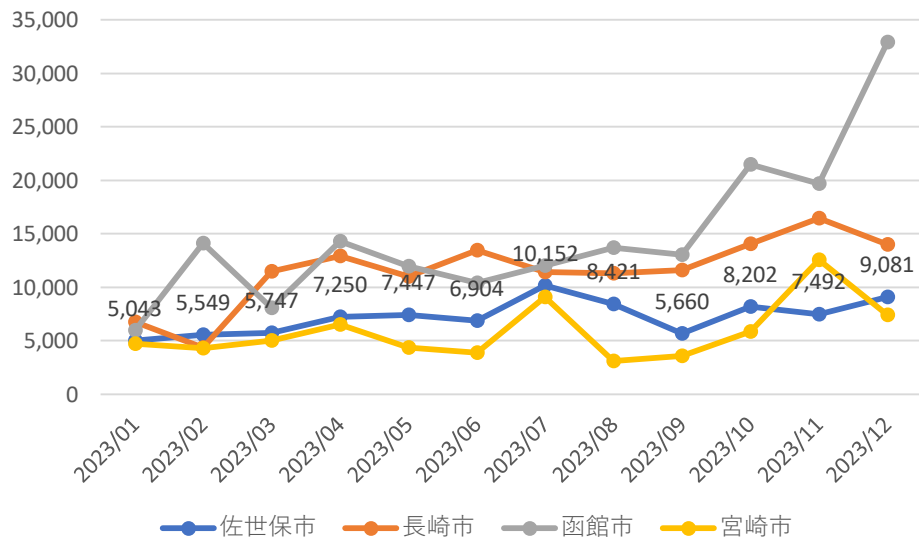
長崎県	0.06
福岡県	0.39
東京都	0.60
大阪府	0.51

※相関係数とは2つの変数がどれだけ関連しているかを示す統計量で、1に近いほど強い相関がある。0.2～0.4で弱い相関、0.4～0.7で相関関係があり0.7以上は強い相関がある。

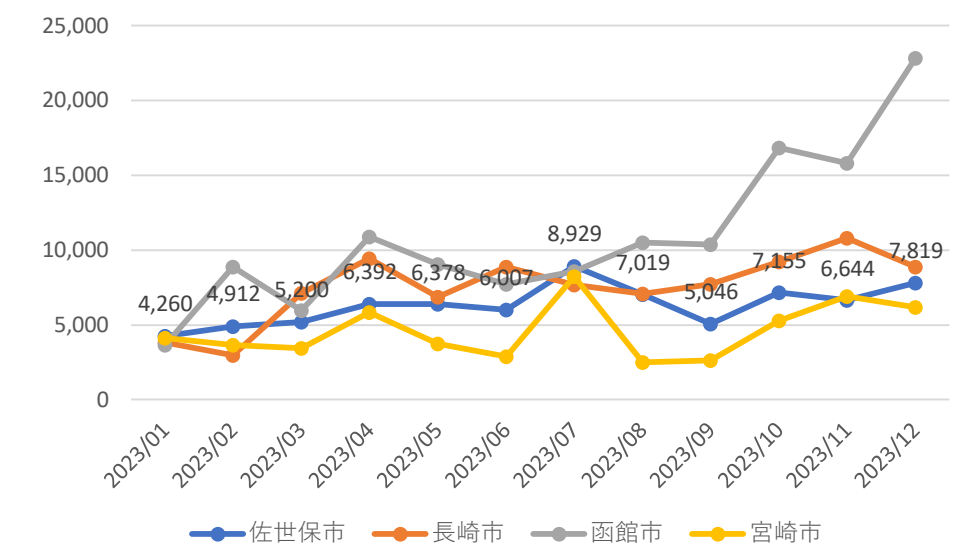


(参考) 外国人宿泊動向・客室稼働率

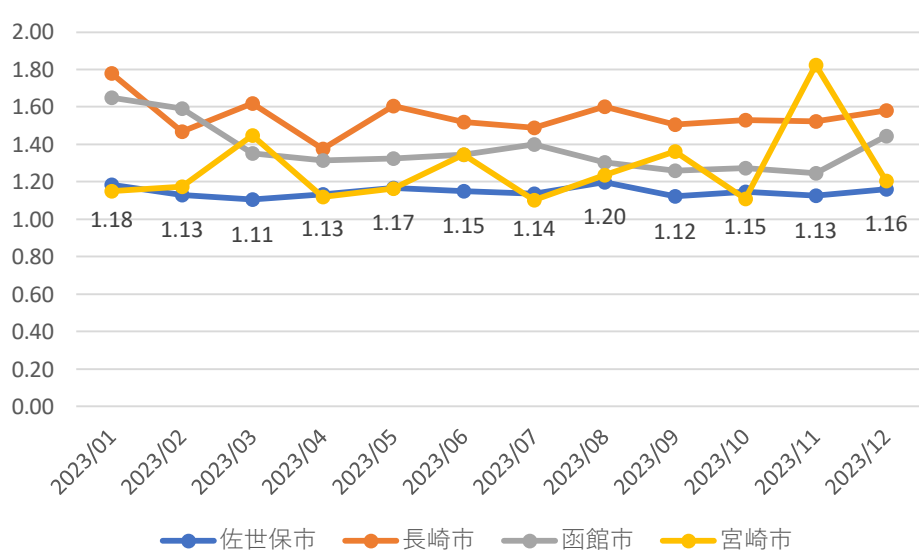
外国人延べ宿泊者数 (人)



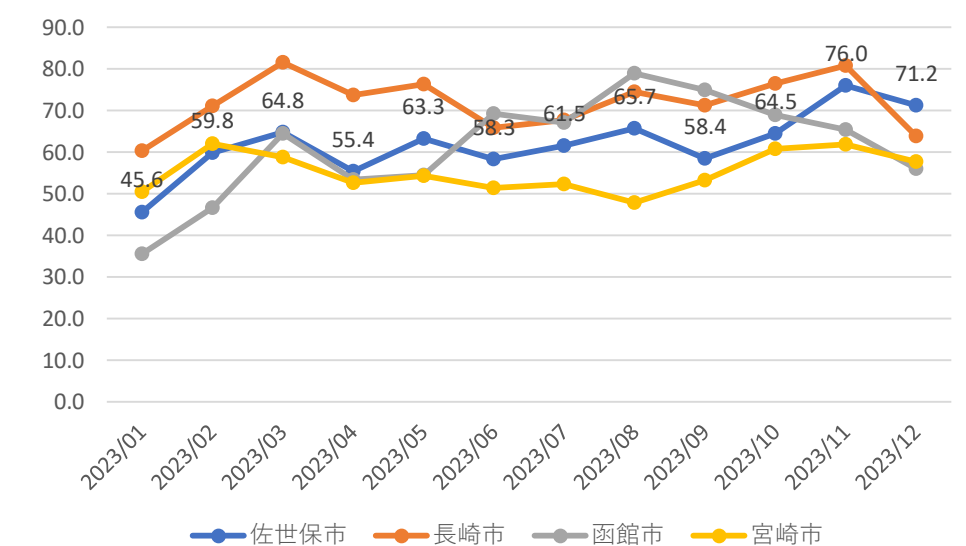
外国人宿泊者実数 (人)



外国人平均宿泊数 (泊)



客室稼働率 (%)



資料) 観光庁 宿泊旅行統計調査(2024年2月時点の最新データより)

佐世保観光マーケティングレポート 2024年3月号

発行者: 公益財団法人佐世保観光コンベンション協会

(データ分析・提供・編集協力): 公益財団法人ながさき地域政策研究所

【ご注意: 本資料の転載・複製での利用について】

- 本資料は、公益財団法人佐世保観光コンベンション協会の著作物であり、著作権法に基づき保護されています。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。事前に当協会までご連絡ください。使用用途によって転載・複製をご遠慮いただく場合もございます。予めご了承ください。
- 本資料は弊局が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。本資料を利用する場合にはお客さまのご判断でご利用ください。